

# 主日礼拝

2024 年 10 月 06 日  
午前 10 時 30 分

## 前奏

## 参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに  
来なさい。休ませてあげよう。」

(マタイによる福音書 11 : 28)

## 頌栄 26 「グロリア」



グロリア グロリア グロリア ちとみ子に  
グロリア グロリア グロリア せいなる 霊に

## 信仰告白 使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我は  
その独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架に  
つけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に  
死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父なる  
神の右に坐したまへり、かしこより来りて、生ける  
者と死ねる者とを審きたまはん。我は聖霊を信ず、  
聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、身体  
のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。

## 賛美 18 「心を高くあげよ！」

"Lift up your hearts!" we lift them, Lord, to Thee  
詞 : Henry M. Butler, 1833-1918

SURSUM CORDA  
曲 : Alfred M. Smith, 1879-1971



1 「こころをたかくあげよ!」 主のみこえにしたがい、た  
2 きりのよう なうれいも、やみのよう なおそれも、み  
3 主からうけ たすべてを、ふたたび主にささげ て、き  
4 おわりの日 がきたなら、さばきのぞ をみあげ て、わ  
だ主のみをみあげて、こころをたかくあげよう。  
なうしろになげすて、こころをたかくあげよう。  
よきみ名をほめつつ、こころをたかくあげよう。  
がちからのかぎり に、こころをたかくあげよう。

- |   |  |
|---|--|
| 1 「こころを高くあげよ!」<br>主のみこえにしたがい、<br>ただ主のみを見あげて、<br>こころを高くあげよう。 | 3 主から受けたすべてを、<br>ふたたび主にささげて、<br>きよきみ名をほめつつ、<br>こころを高くあげよう。   |
| 2 霧のよう なうれいも、<br>やみのよう な恐れも、<br>みなうしろに投げすて、<br>こころを高くあげよう。  | 4 おわりの日 がきたなら、<br>さばきの座を見あげて、<br>わがちからのかぎり に、<br>こころを高くあげよう。 |

## 祈祷

## 献金

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。  
アーメン。

## 賛美 39-5 (2 回) 「ハレルヤ」



ハレルヤ、ハレルヤ、  
ハレルヤ、ハレルヤ。

聖書 ヨハネによる福音書 21:15~19

新約(新共同訳)P211~P212

15 食事が終わると、イエスはシモン・ペトロに、「ヨハネの子シモン、この人たち以上にわたしを愛しているか」と言われた。ペトロが、「はい、主よ、わたしがあなたを愛していることは、あなたがご存じです」と言うと、イエスは、「わたしの小羊を飼いなさい」と言われた。16 二度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。」ペトロが、「はい、主よ、わたしがあなたを愛していることは、あなたがご存じです」と言うと、イエスは、「わたしの羊の世話をしなさい」と言われた。17 三度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。」ペトロは、イエスが三度目も、「わたしを愛しているか」と言われたので、悲しくなった。そして言った。「主よ、あなたは何かもご存じです。わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。」イエスは言われた。「わたしの羊を飼いなさい。18 はっきり言うておく。あなたは、若いときは、自分で帯を締めて、行きたいところへ行っていた。しかし、年をとると、両手を伸ばして、他の人に帯を締められ、行きたくないところへ連れて行かれる。」19 ペトロがどのような死に方で、神の栄光を現すようになるかを示そうとして、イエスはこう言われたのである。このように話してから、ペトロに、「わたしに従いなさい」と言われた。

賛美 390 「主は教会の基となり」

The Church's one foundation  
詞：Samuel J. Stone, 1839-1900  
AURELIA  
曲：Samuel S. Wesley, 1810-1876

1 主は 基の 教会の 基となり、  
2 主は 教会の 基となり、  
3 主は 教会の 基となり、  
4 主は 教会の 基となり、

みことばをもて これをきよめ、  
われらを死より ときはなちて、  
仕うる民となしたまへり。

3 憎みあそばさる われらを裂き、  
人はあざけり ののしるとも、  
神はわれらの 叫びをきき、  
なみだにかえて 歌をたまわん。

2 世界の民は 集められて、  
ひとつのからだ、ひとつの糧、  
ひとつの望み、共にわかち、  
ひとりの神のみ民となる。

4 世にある民も 去りし民も  
共にまじわり、神をあおぎ、  
永遠の勝利を 待ちのぞみて、  
イエスの来ますを せつに祈る。

説教 「踏み直してくださる主イエス」

賛美 493 「いつくしみ深い」

What a friend we have in Jesus  
詞：Joseph Scriven, 1819-1886  
WHAT A FRIEND (CONVERSE)  
曲：Charles C. Converse, 1832-1918

いつくしみ深い 友なるイエスは  
うれいも罪をも ぬぐい去られる。  
悩み苦しみを かくさず述べて、  
重荷のすべてを み手にゆだねよ。

2 いつくしみ深い 友なるイエスは  
われらの弱さを 共に負われる。  
嘆き悲しみを ゆだねて折り  
つねに励ましを 受けるうれしさ。

3 いつくしみ深い 友なるイエスは  
愛のみ手により 支え、みちびく。  
世の友われらを 捨てるときも  
祈りに応えて ながさめられる。

- いつくしみ深い 友なるイエスは  
うれいも罪をも ぬぐい去られる。  
悩み苦しみを かくさず述べて、  
重荷のすべてを み手にゆだねよ。
- いつくしみ深い 友なるイエスは  
われらの弱さを 共に負われる。  
嘆き悲しみを ゆだねて折り  
つねに励ましを 受けるうれしさ。
- いつくしみ深い 友なるイエスは  
愛のみ手により 支え、みちびく。  
世の友われらを 捨てるときも  
祈りに応えて ながさめられる。

派遣

司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」  
会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏

司式 向井 希夫牧師  
説教 三谷 高康学長  
奏楽 高橋 孝子

※お立ちになるのが困難な方は、座ったままで礼拝をお守り下さい。  
※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。